

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース	
デッサン1	
第4回	頭身と計測の仕方遠近法(3)
第5回	人物と登り坂、下り坂遠近法(4)
第6回	メガネや靴、衣装の描き方(1) スケッチ自然物
第7回	彫刻を描く(1) クリナップ(1)
第8回	彫刻を描く(2) クリナップ(2)
第9回	クロッキーとアー室内パース(1)
第10回	ムービングと人物デッサン(2) 室内パース(2)
第11回	ムービングと人物デッサン(3) レイアウト
第12回	楕円の描き方とガラスデザイン
第13回	ガラスのデッサン仕上げ背景とキャラクター
第14回	デッサンクロッキー総合背景制作実践
第15回	前期のまとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 キャラクターデザインコース	
デッサン1	
第4回	静物デッサン②
第5回	静物デッサン③
第6回	静物デッサン③
第7回	細密デッサン
第8回	細密デッサン
第9回	人物デッサン①
第10回	人物デッサン①
第11回	自画像①
第12回	自画像①
第13回	想定デッサン①
第14回	風景デッサン①
第15回	風景デッサン①

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース											
デッサン 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	加藤正			実務 経験	有	職種	画家、版画家				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高めます。											
到達目標											
デッサンの基本的要素（構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など）を理解する。自分の感性を素直に表現できる描写力を身につけ、今後の制作に活かせるようにする。遠近法の理解を深める。自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力、観察眼を養う。人体のプロポーションを理解する。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になります。これまでデッサンの経験がある人ない人さまざまですので、描き易いモチーフから授業を進めていきます。一つの課題が終わるごとに課題作品を並べて講評をします。他の人の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性に気がつきます。毎回、人物クロッキーを5分x2回行います。											
成績評価方法											
課題作品の評価と授業態度による											
履修上の注意											
授業の始めに実技のポイントなどを説明しますので遅刻をしないこと。10分以上遅刻は欠席となりますので注意して下さい。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参するように。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げるようにして下さい。時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となります。											
教科書教材											
特になし											
回数	授業計画										
第 1 回	ガイダンス、クロッキー。デッサンをする上での道具や用具の使い方について理解する										
第 2 回	人体骨格の模写。人体の構造の理解を深める										
第 3 回	幾何形体（多面体）を描く。基本的なデッサンのプロセスを理解する										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース	
デッサン1	
第4回	校内写生（雨天順延）。構図に注意し、遠近感を出すことに考慮する
第5回	幾何形体（球、円柱、円錐）を描く。明度の違いは、光源との距離と光源に対する面の傾きによって決まる事を理解する
第6回	手を描く。形態の把握と質感の違いを理解し、表現に結びつける
第7回	足の石膏デッサン（1）。形態の把握と構図について理解する
第8回	足の石膏デッサン（2）。空間の認知と存在感を意識する
第9回	人物スケッチ、クロッキー。基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第10回	ヌードデッサン（女性）。人体のプロポーションを理解する
第11回	ヌードデッサン（男性）。人体のプロポーションを理解する
第12回	石膏像デッサン（1）。基本的な石膏像デッサンの描き方のプロセスを理解する
第13回	石膏像デッサン（2）。質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる
第14回	ビンを描く。透明感のある物の描き方を習得する
第15回	遠近法、透視図法について。遠近法、透視図法を理解する